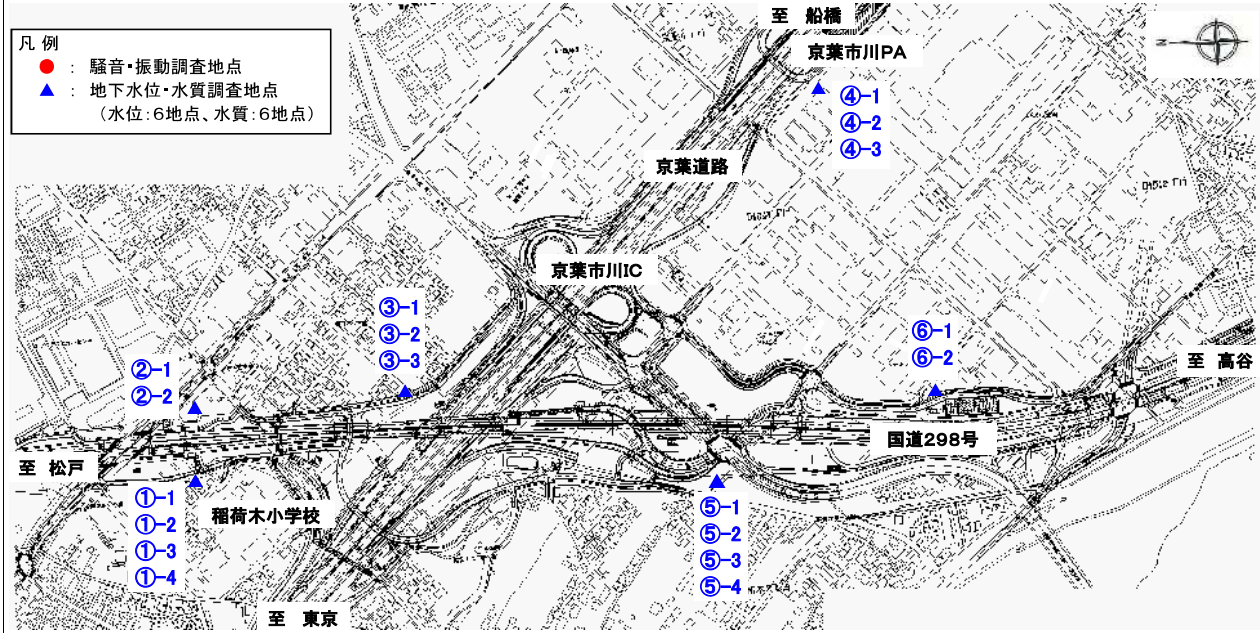


稲荷木・田尻・鬼高地区の1月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、
 地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路㈱
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水位・水質調査地点
 (水位:6地点、水質:6地点)

2.騒音・振動調査結果

○工事は実施されませんでしたので、調査を行っておりません。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年1月28日、29日、2月1日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
OpHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.9	7.8	8.1	7.4	8.1	8.3	7.7	7.4	8.0
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	
pH	7.5	8.1	8.3	6.6	7.4	7.8	8.1	7.4	7.6
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.034	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

● pH (水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

● 六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を指していることをいいます。

4.地下水水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水水位への影響はありません。

単位: T.P.m

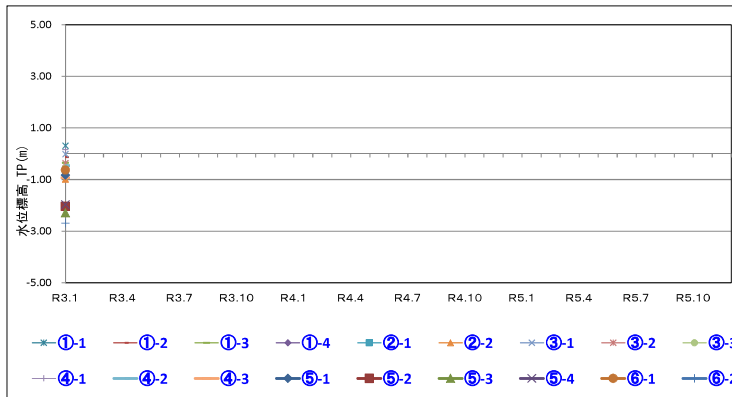
調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	1月	0.305	-0.135	-0.350	-0.570	-0.621	-0.991	-0.020	-0.360	-0.550
	2月									
	3月									

調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2		
R3	1月	0.155	-0.460	-0.930	-0.830	-2.040	-2.290	-1.970	-0.830	-2.685
	2月									
	3月									

解説

● T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

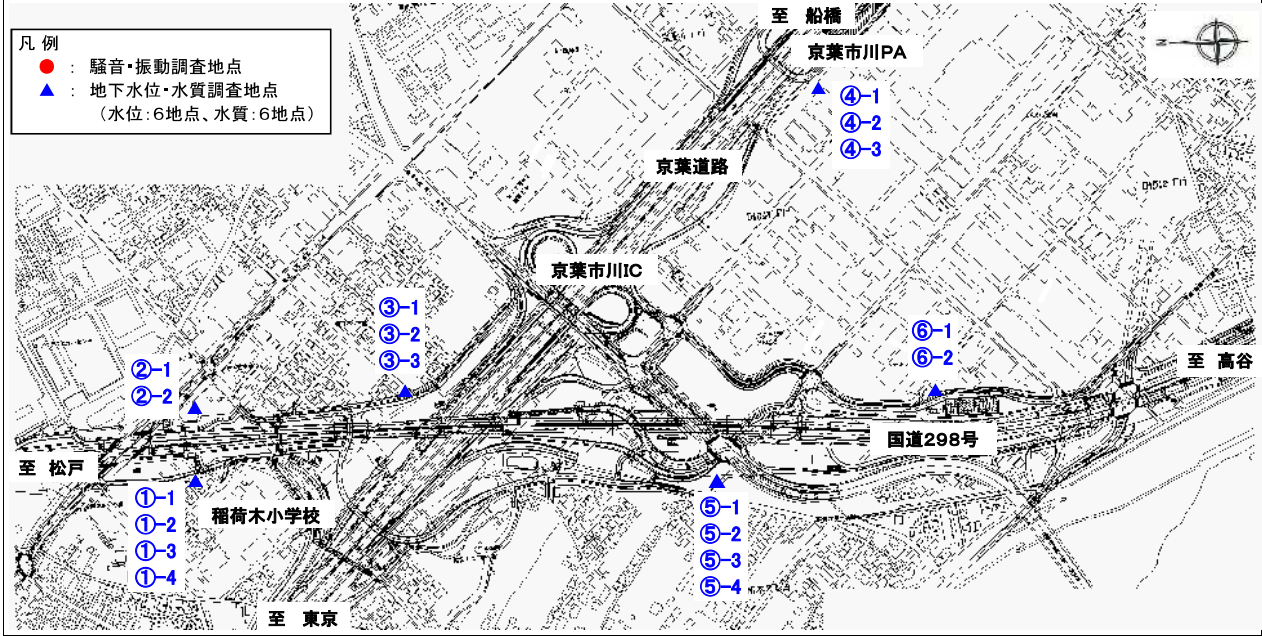


稲荷木・田尻・鬼高地区の2月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路側の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路路側千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路路側
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水位・水質調査地点
(水位:6地点、水質:6地点)

2.騒音・振動調査結果

○工事は実施されませんでしたので、調査を行っておりません。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年2月25日、26日、3月1日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
OpHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②		③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.0	7.5	7.9	7.8	8.1	8.1	7.6	7.3	7.9
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.4	7.9	7.9	6.5	7.3	7.7	8.0	7.3	7.3
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.012	0.005未満	0.006	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

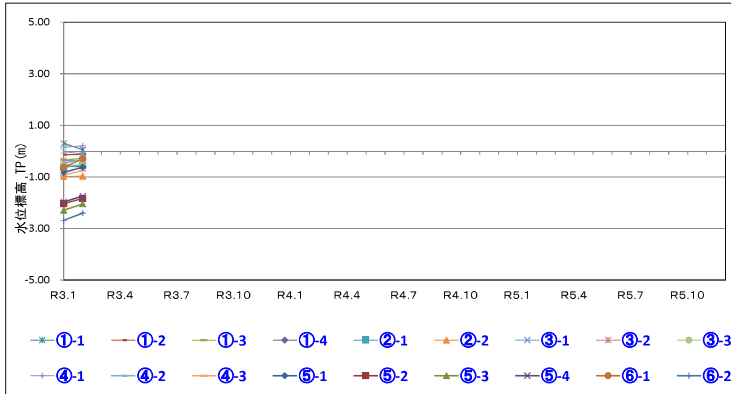
地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

単位: T.P.m

調査地点	①				②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	1月	0.305	-0.135	-0.350	-0.570	-0.621	-0.991	-0.020	-0.360	-0.550
	2月	0.055	-0.125	-0.280	-0.510	-0.551	-0.971	-0.110	-0.370	-0.530
	3月									
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R3	1月	0.155	-0.460	-0.930	-0.830	-2.040	-2.290	-1.970	-0.830	-2.685
	2月	0.205	-0.330	-0.760	-0.620	-1.840	-2.050	-1.750	-0.300	-2.405
	3月									

解説

●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

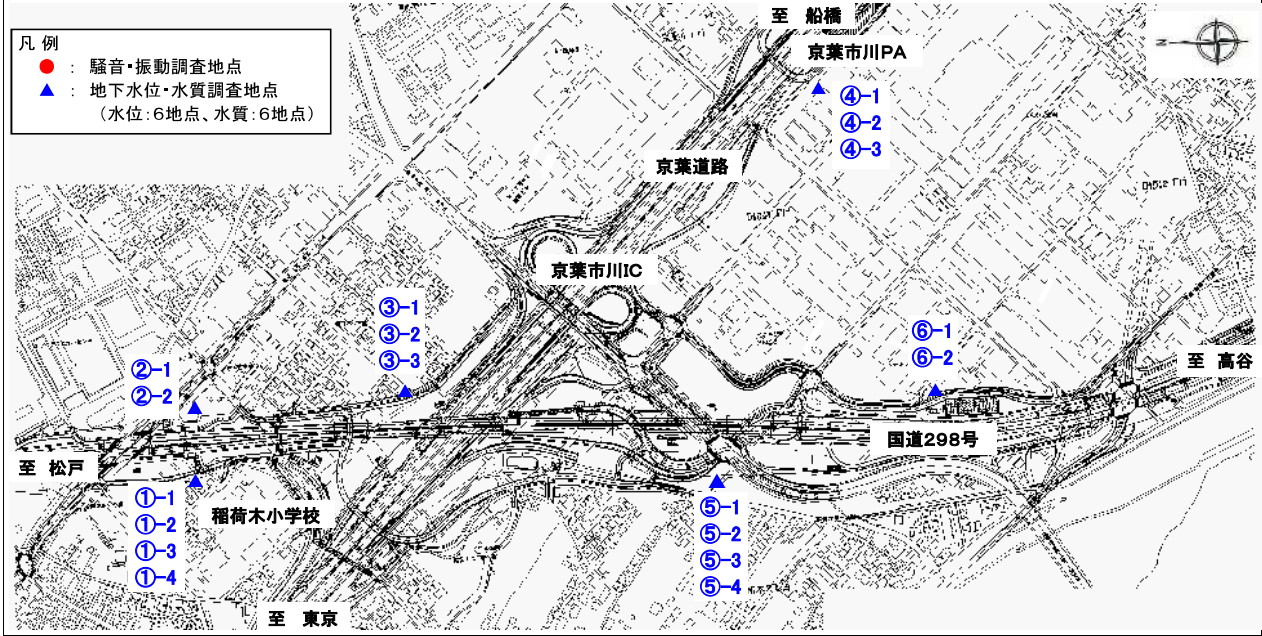


稲荷木・田尻・鬼高地区の3月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路線の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路路線千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路路線
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水位・水質調査地点
(水位:6地点、水質:6地点)

2.騒音・振動調査結果

○工事は実施されませんでしたので、調査を行っておりません。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年3月29日、30日、31日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.0	7.8	8.1	8.0	8.1	8.1	7.3	7.4	8.1
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.5	8.0	8.0	6.5	7.4	7.8	8.1	7.4	7.8
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.012	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH (水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

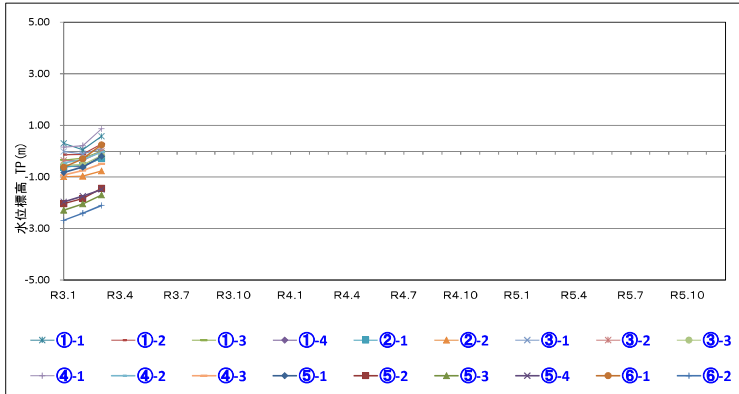
地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	1月	0.305	-0.135	-0.350	-0.570	-0.521	-0.991	-0.020	-0.360	-0.550
	2月	0.055	-0.125	-0.280	-0.610	-0.551	-0.971	-0.110	-0.370	-0.530
	3月	0.575	0.275	0.000	-0.260	-0.291	-0.771	0.100	-0.010	-0.170
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R3	1月	0.155	-0.460	-0.930	-0.830	-2.040	-2.290	-1.970	-0.630	-2.885
	2月	0.205	-0.330	-0.760	-0.620	-1.840	-2.050	-1.750	-0.300	-2.405
	3月	0.865	-0.040	-0.490	-0.200	-1.440	-1.700	-1.490	0.240	-2.105

解説

●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

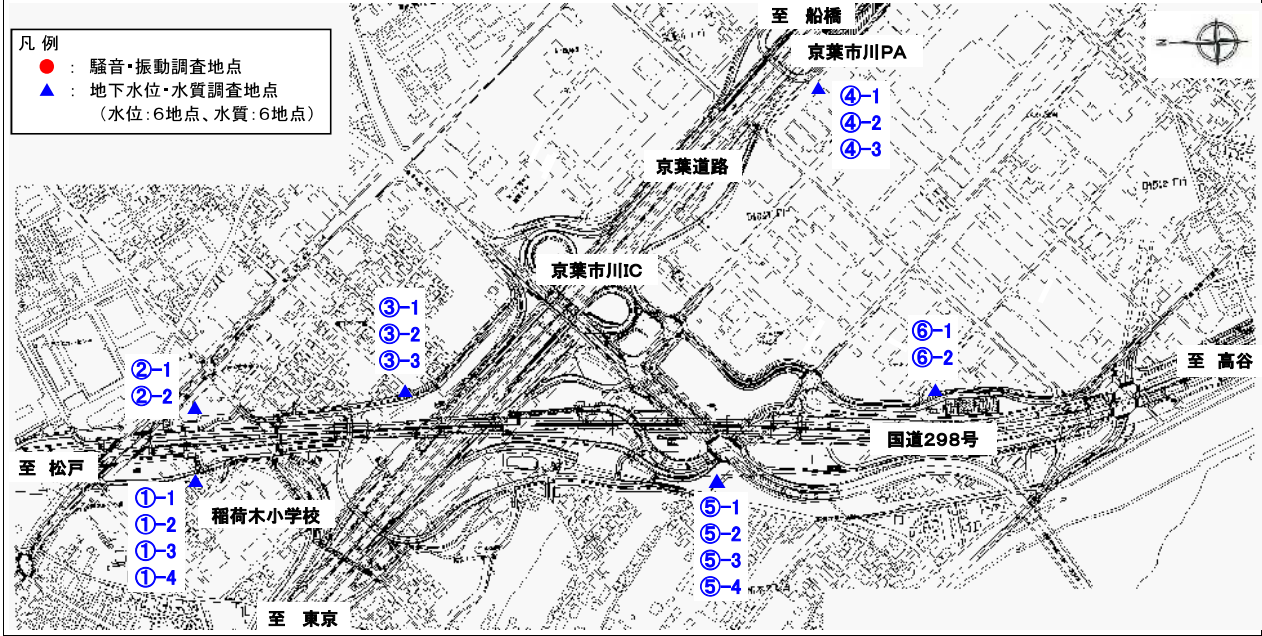


稲荷木・田尻・鬼高地区の4月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路㈱
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水位・水質調査地点
(水位:6地点、水質:6地点)

2.騒音・振動調査結果

○工事は実施されませんでしたので、調査を行っていません。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年4月26日、27日、28日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②		③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.1	7.8	7.9	7.8	8.0	7.8	7.5	7.5	7.9
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	
pH	7.5	8.0	7.9	6.8	7.5	7.8	7.8	7.5	
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.016	0.005未満	0.008	0.005未満	0.005未満	0.005未満	

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

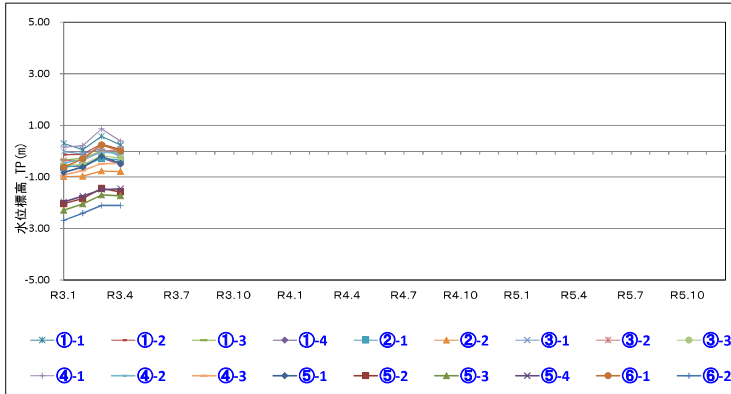
地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

単位: T.P.m

調査地点	①				②		③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	2月	0.055	-0.125	-0.280	-0.610	-0.551	-0.971	-0.110	-0.370	-0.530
	3月	0.575	0.275	0.000	-0.280	-0.291	-0.771	0.100	-0.010	-0.170
	4月	0.235	0.055	-0.090	-0.510	-0.341	-0.791	-0.200	0.060	-0.280
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2		
R3	2月	0.205	-0.330	-0.760	-0.820	-1.840	-2.050	-1.750	-0.300	-2.405
	3月	0.865	-0.040	-0.490	-0.200	-1.440	-1.700	-1.490	0.240	-2.105
	4月	0.385	-0.100	-0.470	-0.470	-1.580	-1.730	-1.460	0.010	-2.105

解説

●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

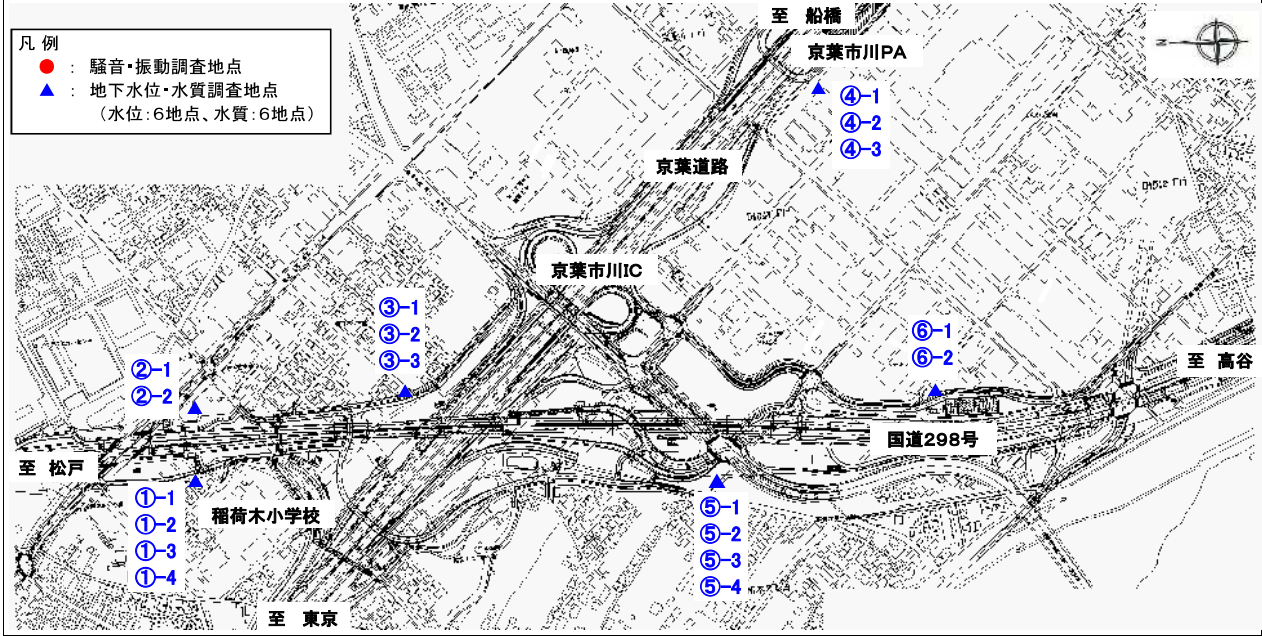


稲荷木・田尻・鬼高地区の5月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路線の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路路線千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路路線
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



2.騒音・振動調査結果

○工事は実施されませんでしたので、調査を行っておりません。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年5月26日、27日、28日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.2	7.9	8.1	8.1	8.1	8.1	7.6	7.6	8.0
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.6	8.0	8.1	6.8	7.5	8.0	8.0	7.6	7.7
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.008	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

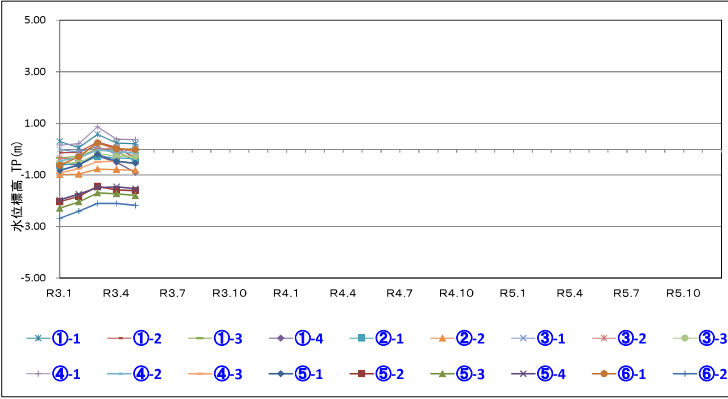
地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	3月	0.575	0.275	0.000	-0.260	-0.291	-0.771	0.100	-0.010	-0.170
	4月	0.235	0.055	-0.090	-0.510	-0.341	-0.791	-0.200	0.060	-0.280
	5月	0.215	-0.335	-0.450	-0.900	-0.371	-0.821	0.070	-0.120	-0.280
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R3	3月	0.865	-0.040	-0.490	-0.200	-1.440	-1.700	-1.490	0.240	-2.105
	4月	0.385	-0.100	-0.470	-0.470	-1.580	-1.730	-1.460	0.010	-2.105
	5月	0.365	-0.150	-0.550	-0.550	-1.610	-1.800	-1.540	-0.020	-2.185

解説

●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



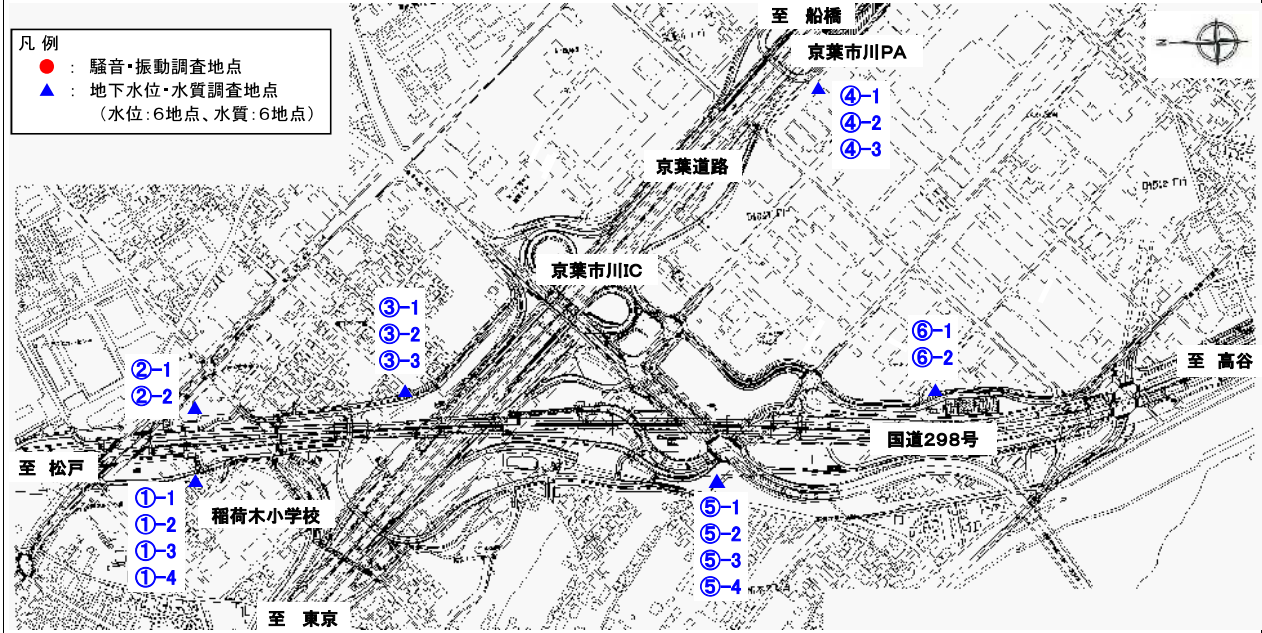
稲荷木・田尻・鬼高地区の6月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路線の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路株式会社千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株式会社
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点

- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水位・水質調査地点
 (水位:6地点、水質:6地点)



2.騒音・振動調査結果

○工事は実施されませんでしたので、調査を行っておりません。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年6月28日、29日、30日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.3	7.9	8.1	8.0	8.1	8.0	7.6	7.6	8.1
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.6	8.1	8.0	6.7	7.5	7.9	7.9	7.4	7.5
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.008	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固結剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固結剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	4月	0.235	0.055	-0.090	-0.510	-0.341	-0.791	-0.290	0.060	-0.280
	5月	0.215	-0.335	-0.450	-0.900	-0.371	-0.821	0.070	-0.120	-0.280
	6月	0.485	-0.325	-0.480	-0.970	-0.421	-0.891	-0.150	-0.360	-0.560
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R3	4月	0.385	-0.100	-0.470	-0.470	-1.580	-1.730	-1.460	0.010	-2.105
	5月	0.365	-0.150	-0.550	-0.550	-1.610	-1.800	-1.540	-0.020	-2.185
	6月	0.095	-0.380	-0.670	-0.600	-1.730	-1.880	-1.820	0.100	-2.175

解説

●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

